

13 柔道

- 1 日 時 令和7年8月5日(火) 個人戦競技開始 12:00
8月6日(水) 団体戦競技開始 10:00
- 2 会 場 プロシードアリーナHIKONE (彦根市スポーツ・文化交流センター)
〒522-0043 滋賀県彦根市小泉町640番地 Tel (0749) 30-9228
【電車】JR琵琶湖線南彦根駅下車 0.5Km 徒歩5分
- 3 日 程 (1) 令和7年8月5日(火)・・・[大会1日目]
8:30～ 9:00 役員・審判受付 (1階エントランス)
9:00～ 9:30 選手・監督受付 (1階エントランス)
9:30～ 9:50 個人・団体非公式計量 (サブアリーナ)
10:00～10:30 個人(男女)計量(サブアリーナ特設会場)
10:30～11:00 団体(男女)計量(サブアリーナ特設会場)

9:00～ 9:30	審判会議(場所:2階多目的会議室) 参加者:各府県審判員・各府県専門委員長
9:40～10:10	監督会議(場所:2階多目的会議室) 参加者:各府県専門委員長・監督 *コーチの参加は認めない。

11:40～ 開会式
12:00～16:00 男女個人戦
16:00～ 個人戦表彰式

- (2) 令和7年8月6日(水)・・・[大会2日目]
8:30～ 開場
8:30～ 8:45 団体登録選手変更受付
8:30～ 8:50 変更選手のみ計量
8:50～ 9:10 審判会議(2階多目的会議室)
10:00～ 女子団体戦

【 昼食休憩 】

女子団体戦終了50分後 男子団体戦
～16:00 団体戦表彰式

- 4 参加数 (1) 団体戦
①男女各府県3チームの合計36チームとする。
②男子チームの人員は、監督1名、コーチ1名、選手7名以内とする。
③女子チームの人員は、監督1名、コーチ1名、選手4名以内とする。
- (2) 個人戦
男女各府県(男子8階級、女子8階級)2名ずつの合計192名とする。また、
体重区分は次の通りにする。
(男子)50kg級、55kg級、60kg級、66kg級、73kg級、
83kg級、90kg級、90kg超級
(女子)40kg級、44kg級、48kg級、52kg級、57kg級、
63kg級、70kg級、70kg超級

- 5 競技規則 (1) 国際柔道連盟試合審判規程及び国内における「少年大会特別規程」による。
(2) 柔道衣は白色とする
(3) (公財) 講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。
(4) 女子の有段者は、白線なしの黒帯を使用すること。
- 6 競技方法 (1) 団体戦
①男女とも 18 チームによるトーナメント戦を行う。
②男子は 1 チーム 5 人制、女子は 1 チーム 3 人制により試合を行う。
③チーム編成は、男女とも体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。
交代の選手と入れ替えた場合においても、同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。
④試合時間は 3 分間とし、代表戦における延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。
⑤勝敗の判定基準は技によるスコア又は「僅差（『指導』の差 2）」とする。
⑥優劣の成り立ちは下記の通りとする。
「一本」＝「反則勝ち」>「技有」>「有効」>「僅差」
⑦勝敗は、次の方法によって決定する。
ア、チーム間における勝ち数による。
イ、アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
ウ、イにおいて同等の場合は、1 名による代表戦により決定する。
⑧代表戦は任意の選手とし、判定基準は個人戦と同様とする。
⑨代表戦で両者反則負けの場合には、両チームとも次の試合に進めない。
- (2) 個人戦
①男女とも各階級 12 名によるトーナメント戦を行う。
②試合時間は 3 分間とし、延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。
③勝敗の判定基準は、技によるスコア又は「僅差（『指導』の差 2）」とする。
得点差が無い場合または、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。
延長戦（ゴールデンスコア）で新たに指導差がついた時点で勝敗が決する。
④両者反則負けの場合には、両者とも次の試合に進めない。
- 7 計 量
①個人公式計量の前に個人・団体非公式計量（仮計量）を行うことを認める。
②非公式計量は、時間内に自由に体重を測定することができる。
③公式計量は指定された時間内に 1 回とし、再計量は一切認めない。
④計量を受けなかった場合は大会出場を認めない。
⑤個人戦、団体戦の両方に出場する選手は、2 回測定を行うこと。
⑥公式計量の服装について
個人戦 ・男子は下穿きのみ、女子は試合用 T シャツと下穿きとする。
・下穿きの代わりに下着又はスパッツの着用を認める。
団体戦 ・男子は下穿きのみ、女子は試合用 T シャツと下穿きとする。
*個人戦、団体戦どちらの場合においても、包帯・サポーター等の着用は一切認めない。
⑦公式計量の実施方法については、次の通りとする。
個人戦 ・定められた階級の体重区分にない者は失格とする。
※別室計量を希望する選手は、係員に申し出ること。

- 団体戦 ・チームごとに登録選手全員が測定を行うこと。
・順番の入れ替え等があった場合は、当該チームの監督に通知する。

- 8 柔道衣点検 ①試合当日、待機席への入場前に係員が目視で行う（IJF マーク含）。
②現行の（公財）全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿・帯）を着用すること。（赤枠認証マーク・認証番号）
③柔道衣に必ずゼッケン（チーム名・名字入り）を縫い付けて出場すること。
ア 布地は白（晒・太綾）とする。
イ サイズは、横 30 cm～35 cm、縦 25 cm～30 cmとする。
ウ 名字（姓）は上側 2／3、チーム名は下側 1／3 とする。
エ 書体は太字ゴシック体とするが、明朝または楷書でも可とする。
文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。
オ 縫い付け場所は襟から 5 cm～10 cm 下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
（カ）胸にチーム名の刺繍がある場合は、ゼッケンと一致していることとする。
④女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地の T シャツ又は半袖のレオタードを着用すること。
* T シャツのマーキングについては、全日本柔道連盟が定める規定に準ずる。
⑤柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用し受けること。

- 9 選手変更 (1) 団体戦・・・選手申込書提出後、選手の病気・負傷等で選手変更を必要とする場合は、当該学校長から変更届を提出すること。変更届は大会 1 日目の受付時に提出すること。
なお、1 日目での負傷等で選手変更をする場合は、8：30～8：45 の間に変更届を提出し、8：50 までに計量を受けること。
(2) 個人戦・・・選手申込書提出後、理由を問わず選手の変更は認めない。

- 10 その他 (1) 表彰式には次の学校（チーム）・選手が参加すること。
1 日目 表彰式：個人戦各階級入賞者（1 位～3 位）
2 日目 表彰式：団体戦入賞チーム（1 位～3 位）
(2) その他、諸問題が生じた場合は、専門委員長会議で審議し決定する。
(3) 皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚感染症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。
(4) 脳震盪対応について選手及び指導者は下記事項を遵守する。
①大会 1 ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。（なお、至急専門医の精査を受けること）
③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
④当該選手の指導者は大会事務局に対し、書面により事故報告を提出すること。

- 11 連絡先 大津市立皇子山中学校 古蒔 順一郎
〒520 - 0031 滋賀県大津市尾花川 12-1
TEL 077-522-6673 FAX 077-522-8679